

# 指定文化財等台帳（県指定文化財）

名称	ほしのみやいせきしゅつどぐう 星宮遺跡出土土偶	員数	1点	
分類（種別）	有形文化財（考古資料）	指定番号	考53	
指定等年月日	平成23年3月22日	時代	縄文時代	
構造・形式等	縄文時代晩期、遮光器土偶 高さ24.2cm、肩幅16cm、重さ540g			
概要	縄文時代晩期を象徴する遮光器土偶。中空で、土器捨て場からうつ伏せの状態で出土した。 左脚部分を欠くもののほぼ完全な形を留めており、頭部は王冠状突起で表現され、当時の赤色顔料（ベンガラ）が明瞭に残っている。胴部は幅広く、凹凸線や唐草模様状の文様が施されている。眼部が最も誇張されており、まさに遮光器土偶の典型ともいえるその全身像は、国内においても突出した秀美さである。			

所在地	大仙市高梨字田茂木 地内（仙北地域）	標柱関連情報	
所有者	大仙市	標柱の有無	あり <span>なし</span>
所有者の住所		材質	石柱 木柱
管理責任者	大仙市教育委員会		その他（ ）
管理責任者の住所		建立者	
備考		建立年月日	
		※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと	